

| | | | |
|-------------------------|---|---------|--|
| 1. 科目名 (単位数) | 障害の理解 I (2 単位) | 3. 科目番号 | SSMP2314 SNMP2114 SCMP2314 SBMP2314 |
| 2. 授業担当教員 | 櫻井 恵美 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、グループワーク | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 本科目は介護福祉士養成と教員養成(福祉科)の必修科目であることから、本科目を履修する場合は、「身体構造と機能 I」を履修していること、また、「発達と老化の理解 II」、「認知症の理解 I」を合わせて履修すること。 | | |
| 7. 講義概要 | 障害の基礎的理解として、障害の概念や障害者福祉の基本理念を理解する。また、障害のある人の日常生活に及ぼす影響を理解した上で、障害のある人やその家族への生活支援を行うための根拠となる知識を習得することを目的とする。 事例や視聴覚教材等を通して、具体的に障害を理解できるような授業を展開する。 | | |
| 8. 学習目標 | 障害の理解 I が終了した時点で、下記について目標達成することが期待される。 1. 障害の概念や障害の基本的理念が理解でき、その人らしい生活を考えることができる。 2. 生活モデル、ICF の概念が理解でき、環境改善のあり方を考えることができる。 3. 身体的、精神的障害について理解でき、ノーマライゼーションの考え方を明らかにすることができる。 4. 身体的、精神的障害への影響やバリアが理解でき、その対応を考えることができる。 5. 障害のある人に対する介護の基本的視点が理解でき、生活ニーズを把握することができる。 6. 障害のある人だけでなく、その家族とどう関わるか理解でき、専門職としての役割を考えることができる。 7. 障害の種類や特性に応じた保健・医療・福祉との連携と地域におけるサポート体制を理解した上で、地域で普通に暮らすことのできる社会づくりを考えていくことができる。 | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | ①授業中に提示し、ミニレポートを作成して提出する。(第2, 11回) ②第9回 身近にあるバリアを調査し、バリアとなっている現状と対策について演習シートにまとめる。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 新・介護福祉士養成講座 14『障害の理解』第2版 中央法規出版 2022 【参考書】 授業内で適宜紹介する。 【教材】 DVDなどの視聴覚教材を必要に応じて使用する。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 障害の概念や基本的理念が理解できたか。 2. 障害による日常生活への影響やバリアを理解し対応等を考えることができたか。 3. 障害のある人に対する介護の基本的視点を理解し、本人や家族も含めた対応を理解できたか ○評定の方法 [レポート、授業への積極的参加度、テスト結果を総合的に評価する] 1. 授業態度20% 2. 小テスト:30% 3. 期末試験 50% | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | ・講義・演習とも積極的に取り組み、提出物は必ず期限内に提出してください。 ・机の上に携帯電話など教材以外のものを置くこと、私語や居眠り等、他学生の学習の妨げになるようなことは慎むこと。 ・テレビ番組などを通じて、障害者について知る機会を積極的につくってください。 ・不明な点は質問し、解決できるようにしてください。 ・授業では、各障害の概要について各自でまとめ発表すること、グループディスカッションを取り入れます。各自事前学習を丁寧に行い、ディスカッションの際には他者の意見をよく聴き、自分の意見をしっかりと述べてください。 ・やむを得ず遅刻・早退・欠席をする場合は、必ずその理由を申し出るとともに、授業内で配布されたプリントを取りに来て下さい。 | | |
| 13. オフィスアワー | 第1回の授業で説明します。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | ・ガイダンス ・テーマ「わが国の障害者の実態」 わが国における障害者の分類のもと、身体障害者、知的障害者、精神障害者の数について、数値的データを基に実態について理解していく。また、専門職として支援していく上で障害者が持つニーズの把握を概略的に理解できるように進めていく。 | 事前学習 | シラバスを確認し、本授業の概要を把握しておく。 |
| | | 事後学習 | わが国の障害者の実態を理解し、障害者支援の必要性を整理する。 |
| 第2回 | テーマ「『障害』とは」 ・医学的側面から、身体、感覚、内部機能、精神、知的、高次脳機能、難病などの障害の定義を理解する。 ・障害の考え方 (ICIDH, ICF) | 事前学習 | テキスト PP. 2~12 を読み、障害の概念について確認しておく。 |
| | | 事後学習 | ICIDH と ICF の違い、障害の捉え方について整理する。 |
| 第3回 | テーマ「ノーマライゼーション」 障害者とノーマライゼーションについて理解すると共 | 事前学習 | ノーマライゼーションの考え方を確認しておく。 |

| | | | |
|--------------|--|------|---|
| | に、わが国におけるノーマライゼーションの理念について、具体的にどのような形で実現されているかについて理解を深めていく。また、ノーマライゼーションの具体例についてもふれながら、専門職として実践につなげられるように進めていく。 | 事後学習 | ノーマライゼーションの理念に基づく障害者支援のあり方について整理する。 |
| 第4回 | テーマ「リハビリテーションの概念」 リハビリテーションの目標としての全人間的復権、社会的自立について理解する。 | 事前学習 | テキストPP.14～17を読み、リハビリテーションの言葉の意味を確認しておく。 |
| | | 事後学習 | 障害者におけるリハビリテーションの必要性を整理する |
| 第5回 | テーマ「障害のある人の心理」 障害の受容過程を理解する。 *小テスト① | 事前学習 | 第1回～4回までの授業を復習し、小テストに備える。 |
| | | 事後学習 | 障害のある人の心理について整理する。 |
| 第6回 | テーマ「身体的障害について①」 身体、感覚、などの障害について、障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。 | 事前学習 | テキストをよく読み、身体障害について整理する。 |
| | | 事後学習 | 身体的障害の内容及び特性について整理する。 |
| 第7回 | テーマ「身体的障害について②」 内部障害と障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。 | 事前学習 | テキストをよく読み、内部障害の種類について確認する。 |
| | | 事後学習 | 内部障害のある人に対する支援の在り方についてノートにまとめる。 |
| 第8回 | テーマ「身体的障害について③」 高次脳機能障害と障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。 | 事前学習 | テキストをよく読み、高次脳機能障害について確認する。 |
| | | 事後学習 | 高次脳機能障害のある人に対する支援の在り方について整理する。 |
| 第9回 | テーマ「バリアはどこ？」 障害者を取り巻く障壁について調査を通し、環境(人的、物的、地域、社会)が及ぼす影響を考えていく。各自の発表から、多様なニーズに対応していく為に環境の重要性と多様性について理解できるよう、障害者が生活していくうえで、適切な支援ができるように、具体的な改善策を考える。 | 事前学習 | バリアフリー、ユニバーサルデザインについて確認しておく。 |
| | | 事後学習 | 障害者が地域で生活しやすい環境を作るための対応について 演習シートに記録し、発表用パワーポイントを作成する。第15回の授業でグループごとに発表。 |
| 第10回 | テーマ「精神的障害について」 精神障害と障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。 *小テスト② | 事前学習 | 第5回～9回までの授業を復習し、小テストに備える。 |
| | | 事後学習 | 精神障害の特性、関りの基本を整理する。 |
| 第11回 | テーマ「障害のある人に対する介護の基本的視点①」 尊厳の保持、エンパワメント、ストレングスモデルなどを介護の基本的視点とすることを理解する。第6回から10回までの授業の中で学んだ内容を踏まえ、ミニレポートを作成し、提出する。 | 事前学習 | 第6～10回の授業内容を振り返り、それぞれの障害特性について確認しておく。 |
| | | 事後学習 | 障害のある人と関わる際の留意点について整理し、ミニレポートにまとめる。 |
| 第12回 | テーマ「障害のある人に対する介護の基本的視点②」 障害のある人に対する介護の基本的視点について事例を通して理解を深める。 | 事前学習 | A L Sについて確認しておく。 |
| | | 事後学習 | 事例から支援の視点を整理する。 |
| 第13回 | テーマ「障害のある人の家族への支援」 障害者を支援する最も身近な家族について焦点をあて、障害者を抱える家族の心理的な視点や社会における立場等について理解すると共に、家族への支援が障害者の自立支援に与える影響について具体的な例をあげながら学べるように進めていく。 | 事前学習 | 障害のある人を介護する家族の苦悩について、 ①これまでの授業を振り返り整理する。 ②文献等を調べ読んでおく。 |
| | | 事後学習 | 家族との連携、家族支援のあり方を整理する。 |
| 第14回 | テーマ「連携と協働」 地域における障害者及び家族に対してのサポート体制、特に機関や職種について理解すると共に、専門職として連携をどのようにとっていくことが必要であるか、実践につなげられるように進めていく。 *小テスト③ | 事前学習 | 障害者の保健・福祉サービスについて調べておく。第10回～13回までの授業を復習し、小テストに備える。 |
| | | 事後学習 | 障害者を支える機関や専門職について整理する。 |
| 第15回 | まとめ 第9回の調査内容・考察の発表。 障害の理解Iの概略のまとめとして考え、「障害のある人がいきいきと自立して暮らすためには」について、レポートを作成する。 | 事前学習 | グループで発表内容をまとめておく。 |
| | | 事後学習 | 自己の障害に対する考え方、障害のある人への介護観、福祉専門職としての役割を整理し、実践できるようにする。 |
| 期末試験 筆記試験 | | | |